



#キミのミライを  
見つけにいこう。



SCHOOL GUIDE BOOK 2024

# 千葉日本大学第一 高等学校・中学校

CHIBA NIHON UNIVERSITY FIRST SENIOR & JUNIOR HIGH SCHOOL

MIRAI NAVI

# MIRAI NAVI



キミのミライを見つけにいこう。







本校は、日本大学の教育理念である「自主創造」にのっとり、学園独自の校訓として「真」「健」「和」を掲げています。この精神を文章で表すと、『まっ直ぐな気持ちで真理を探究し、心身ともに壮健で、自分はもちろん他人の人格を尊重して社会の一員として協力し合う精神を持てるような人物の完成』を目指しています。まさに、本校の目指す教育の方向が示されています。また、「絆を重んじ、よき生活習慣を持った次世代人の育成」を学園の教育理念としています。

私は、校訓である「真・健・和」の精神を再確認し、一人ひとりの生徒がその実践を心掛けて毎日の学校生活を送り、「愛校心」を持って学校生活を送ることができるような学校を目指していきたいと考えています。

そのための具体的な「目標」が次の三つです。

- ① 自分で考えて判断できるように精神的にしっかり自立して、基本的な生活習慣を確立する。
- ② 自分の進路について真剣に考え、自らの進路を切り開いていくだけの確かな学力を身に付ける。
- ③ 生徒会活動や部活動などによって、学校生活全体の活力を向上させる。

この学校で「心」と「身体」と「知識」を伸ばして、自分の夢をしっかりとしたカタチにいきましょう！

学校長 村中 隆宏



学校長 村中 隆宏



理事長 加納 誠



# 千葉日の教育

## 確かな学力と、輝く知性を育む学習プログラム

千葉日には中高6年間体制と、高校3年間体制で学ぶ生徒たちがいます。6年後、3年後の将来は、付属校の特性を生かして進路を決定する生徒、国公立をはじめとした難関校に挑戦する生徒など一人ひとり違います。共通するのは、どんな志望もきめ細かくサポートする体制。一人ひとりの目標を確実に実現させるプログラムです。

## 中学からの6年間体制

持ち上がり担任制を原則とし、多感な中高6年間の成長を見守ります。体育祭や文化祭、修学旅行などの学校行事だけでなく、クラスごとに参加する合唱コンクールや個人の力を発揮することができるスピーチコンテストなど、多くの行事を経験することで人間関係やリーダーシップを学びます。

### 前期

中学1年・中学2年

生活習慣を固定し、学習に臨む姿勢を確立します。英語・数学では、放課後の補習や大学生のチューターによるサポーター室などにより、基礎学力の定着をはかります。

### 中期

中学3年・高校1年

基礎学力を確認しながら高度な内容に発展します。高校1年からは国公立や難関私大を目指す特進クラスがあり、一人ひとりの幅広い進路希望に応えます。

### 後期

高校2年・高校3年

特進・進学のカラス選択に加え、高校2年からは文系・理系に分かれます。さらに高校3年では日本大学、国公立・難関私大それぞれの志望に応じた選択授業で実践力を養成します。

### ● 中学校のカリキュラム（年間時間数）〈現行〉

教科	国語		社会			数学		理科	音楽	美術	保健体育		技術家庭		外国語			道徳	特別活動	総合学習
	国語	国語表現	地理	歴史	公民	数学	数学演習				体育	保健	技術	家庭	英語	リーディング	英会話			
中1 時数	2	3	2	2		5		4	1.5	1.5	3		1	1	5		1	1	1	1
	175		140			175		140	52.5	52.5	105		70		210			35	35	35
中2 時数	2	3	2	2		4	2	4	1	1	2	1	1	1	5		1	1	1	1
	175		140			210		140	35	35	105		70		210			35	35	35
中3 時数	2	3			4	4	2	4	1	1	2	1	1		3	3	1	1	1	1
	175		140			210		140	35	35	105		35		245			35	35	35

## iPadの活用

本校ではiPadを活用することで、生徒たちが自発的に学び、創造的な思考と行動力を育むことを目指しています。iPadを活用することで、文書や資料の閲覧だけでなく、音声や映像を用いた学習が可能になります。特に、英語教育に力を入れており、ネイティブスピーカーとのオンライン英会話を通じて、実践的な英語力を身につけることができます。また、個別指導によるきめ細やかなサポートにより、英語を話すことに自信がない生徒でも英語力の向上を目指すことができます。

総合学習、道徳、LHRではiPadを活用して、生徒たちが協働的な学びを実現しています。加えて、本校ではICT機器の「普段使う力」として、様々な場面で使用するかどうか、使用する場合はどのような目的で使用するかを判断する力を重視した指導を行っています。これにより、生徒たちは適切な使い方を学び、ICT機器を有効に活用することができています。





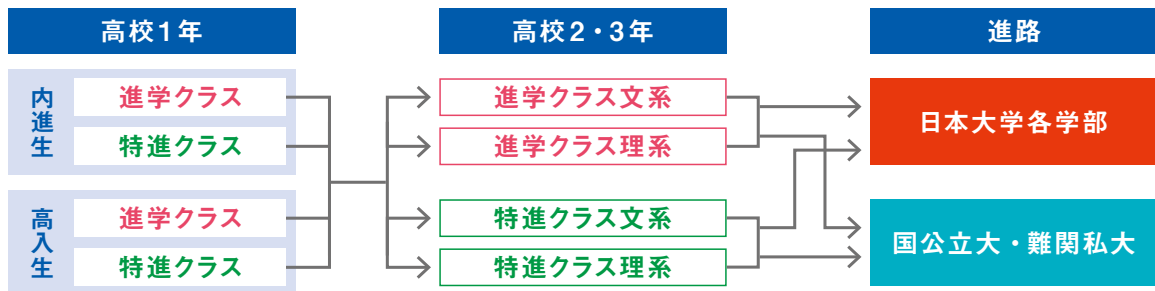
## 千葉日の教育の特色

中高6年間体制は、6年間を3段階に分けて、成長にあわせた指導を行います。中1、中2の「前期」は生活習慣を徹底し、学習に臨む姿勢を確立します。中3、高1は、将来の志望を固める重要な「中期」として、基礎力を確認しながら高度な学習内容に発展します。高2、高3の「後期」では、文系・理系ごとに日大・他大選択を含めた具体的な目標に向かって実践力育成に集中します。



## 高校3年間のクラス編成

高校1年生は、内進生と高入生を別のクラスとし、高入生が先取り学習に1年かけて追いつくように丁寧に指導します。内進生、高入生ともに1年次から1クラスずつ「特進クラス」を作り、2年生からは文系・理系に分かれると同時に、進学クラスは主に日本大学を、特進クラスは国公立をはじめとした難関大学を目指すクラスに分かれて、それぞれの希望する進路に向けて進みます。



### ● 高校のカリキュラム (単位数)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
高1	教科	国語		地理歴史・公民			数学			理科			保健体育		外国語			総合的な探究	LHR																
	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	公共	数学I	数学A	物理基礎	化学基礎	生物基礎	体育	保健	英語C I	論理・表現I																					
時数	2	3	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	1	3	3	1	1																		
高2	文科	国語			地理歴史・公民		数学		保健体育		芸術I		外国語		家庭基礎		総合的な探究	LHR																	
	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究/日本史探究/世界史探究/倫理・政治経済		数学II	数学B	体育	保健	英語C II	論理・表現II																								
時数	3	3	3	4	4	2	2	1	1	4	3	2	1																						
高2	理科	国語		数学			理科		保健体育		芸術I		外国語		家庭基礎		総合的な探究	LHR																	
	論理国語	古典探究	数学II	数学B	化学	物理/生物	体育	保健	英語C II	論理・表現II																									
時数	2	3	4	4	3	3	2	1	1	4	3	2	1																						
高3	文系進学	国語		地理歴史・公民		数学		保健体育		芸術I		外国語		情報		総合的な探究	LHR																		
	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究/日本史探究/世界史探究/倫理・政治経済	演習(左記と同科目)	数学演習	体育	英語C III	論理・表現III	情報I																									
時数	3	2	4	3	3	3	3	1	4	4	2	1	1																						
高3	理系進学	国語		数学		理科		保健体育		芸術I		外国語		情報		総合的な探究	LHR																		
	論理国語	古典探究	数学III	数学C	物理/化学/生物	演習(左記と同科目)	体育	英語C III	論理・表現III	情報I																									
時数	3	3	4	3	4	3	3	1	3	3	2	1	1																						
高3	文系特進	国語		外国語		保健体育		芸術I		情報		総合的な探究		選択		LHR	LHR																		
	論理国語	文学国語	古典探究	英語C III	論理・表現III	体育	芸術I	情報I	地理探究/日本史探究/世界史探究/公民演習/英語演習	地歴演習4/数学演習2																									
時数	3	2	4	4	3	3	1	2	1	3	3	1	1	2/4																					
高3	理系特進	国語		数学		理科		外国語		保健体育		芸術I		情報		総合的な探究	LHR																		
	論理国語	数学III	数学C	物理/化学/生物	左記と同科目の演習/左記と別科目	英語C III	論理・表現III	体育	芸術I	情報I	古典探究2/数学演習3/英語演習3																								
時数	3	4	3	4	4	3	2	3	1	2	1	1	2/3																						

# 中学校の教育

## 三点固定教育の実践で基礎学力を身につける

中学校は人間としての基礎を築く時期です。生活習慣を確立する「三点固定」を実践し、整った学習環境の中で学力の確実なステップアップをはかります。



## 中学校教育のポイント

### POINT 1

#### 「三点固定」教育の実践

「三点」とは、起床時間、家庭学習時間、就寝時間を指します。この3つを生活の柱として固定して、生活習慣を確立するのが「三点固定」です。

小学校時代に比べて学習の難易度が飛躍的にあがる中学では、基本的な生活習慣を確立し、自己管理能力を身につけることで、自ら学ぶ姿勢を育てます。早い段階で生活環境を整えた生徒ほど、学力向上が目覚ましいとの結果もあります。

学校の学習は「チャイムからチャイムの間が授業である」という指導を徹底させ、効率的に学ぶ意識を持った学校生活を実践します。

中学全学年が8時20分～40分までの20分間、読書をしています。読んだページ数や冊数によって、全体での表彰も行っています。

### POINT 2

#### 学習の「深度」と「進度」

主要教科の充実、学習の深度と進度にあります。高校の教科書の内容であっても、中学で学ぶべき分野であれば各教科で積極的に取り入れ、学習内容を有機的に結びつけて、深く、広く学びます。

国語はビブリオバトルを通じて話す・聞く力を伸ばします。数学は3年生で高校の内容を先取り学習しながら、週2回の「演習」で既習範囲の基礎力定着から応用力の養成までレベルに応じた指導を行います。

理科は充実した施設の中で実験を重視した授業を展開し、社会は単元ごとに問題解決型の授業を実施するなど、主体的な活動を通して理解を深めます。

### POINT 3

#### 充実したサポート

中学ではベネッセの「学力推移調査」を年3回受験します。このテストは、中高一貫校の中学生向けの全国テストです。

基礎となる学力の定着度とその土台となる生活習慣・学習習慣・意識などをともに測定することで、今後の生徒の自主的な目標設定や学習行動を促し、中高一貫校によくある「中だるみ」を防ぐ効果もあります。

指標として「学習到達ゾーン(GTZ)」が示され、全国における学力位置をS・A・B・C・Dの「ゾーン」で確認することができます。GTZはベネッセ共通の学力指標であり、高校でのスタディーサポートや進研模試で、中高6年間を通して学力の推移を把握することもできます。

さらに、英語と数学では、理解度を高めるための宿題提出と理解度をはかるための小テストをこまめに行っており、理解が足りないところや苦手分野については、放課後の指名講習や長期休暇中の希望講習でフォローします。



## 総合学習

総合的な学習では、実社会や実生活の中から問を見出し、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、表現することができるようにすること、すなわちプレゼンテーション力のアップを目標に取り組んでいます。

### 中学1年：自分の趣味を調べよう。

その良さをまとめ、スライドで発表します。

### 中学2年：職業を調べよう。

自分が興味を持っている職業や、身近にいる保護者や親戚の職業を調べて、その魅力をスライドにまとめ、発表します。

### 中学3年：旅行会社の社員として旅行プランを作ろう。

自分が行ってみたい国を調べ、その国への旅行プランを立ててチラシを作ります。最初の授業には旅行会社から各クラスに1名の社員が来て、プランの立て方だけでなく、仕事の魅力についても語ってくれます。





自然の恵みを肌で感じる

## 体験行事

日々の授業で学んだことを、学校を飛び出した社会で実践する「体験学習」。班を作り、計画を立てて行動し、目的を達成するまでのすべてが「学び」です。机上ではできない経験をする体験学習は、授業と同じ重みがあります。

### ▶ 宿泊研修

中1の5月、群馬県の水上高原で、2泊3日の宿泊研修を行います。里山オリエンテーリングや飯盒炊さん、班別の体験学習など、中学生になってはじめての宿泊行事は仲間との絆を深めます。



### ▶ スキー教室

中2の3学期には、長野県菅平にて3泊4日のスキー教室を実施します。初心者から上級者まで4つのレベルに分かれ、現地のインストラクターの方がていねいに指導します。



### ▶ 自然体験学習

毎年8月、中3の希望者約50名が岩手県一関市大東町で行う自然体験学習。すでに20年を超える伝統行事です。山と川に囲まれた自然豊かな地域で、酪農や野菜作りをしている農家に、数人ずつ分かれてホームステイをします。それぞれの農家や集落ごとに、農作業の手伝いをしながら、餅つきやそば打ちを体験したり、川遊びで魚を取るなど貴重な体験が満載です。



土に触れ、生命の息吹を感じる農作業体験。農家の方々の苦勞も学びます。

### ▶ 合唱コンクール

外部の大ホールにて中学全学年で行う「合唱コンクール」。音楽を楽しむとともに、朝や放課後での練習でクラスの団結力を高めあい、当日のホールには一体感のある合唱が響き渡ります。2月に行うため1年間の集大成となる行事です。



### ▶ 模擬裁判

毎年、文化祭で実施する「模擬裁判」。千葉県弁護士会法教育研究会の弁護士の方々の指導のもと、中3生が、裁判官、検察官、弁護人の役を務めて審理を行います。ある年に取り上げた傷害事件では、先生が演じた被害者や目撃者の証言や、証拠にもとづき、慎重な審理が行われました。大役を終えた生徒たちの感想は「いつか本物の法廷を傍聴したい」。社会問題に目を向けるきっかけとなる行事です。



### ▶ 修学旅行

中3の修学旅行は、京都・奈良へ。京都ではいくつかのグループごとに、班別行動を行います。コースは能楽堂の狂言見学や、着物の着付け、八ツ橋作りなど、体験型のプログラムから選択します。班を決め、行先を選択し、行動計画を立てるところから修学旅行がスタートします。



### ▶ 中1 理工学部体験

中学1年生を対象に日本大学理工学部船橋キャンパスの学科の先生方から最新の研究を分かりやすく教えてもらいます。普段の生活では知ることのできない専門的な内容に興味をもつ生徒が多く、好評な講義です。



### ▶ 百人一首大会

国語科の教員が中学生から和歌の楽しさを伝えるために始めたのが百人一首大会です。今では中学生徒会が中心となって実施しています。20年以上続いている本校の伝統行事の一つです。



# 高等学校の教育

## 一人ひとりの進路希望に応えるためのきめ細かい進路指導を行います

1年次は内進生と高入生が分かれ、1年間で内進生の先取り学習に高入生が追いつくようにしながら基礎を固めていき、2年次からは文系・理系に分かれ、それぞれの進路希望にそったカリキュラムで学びます。ベネッセのスタディサポートによる定期的な学習状況の確認や学期ごとの面談により、きめ細やかな指導を行います。また、学習支援クラウドサービス「Classi」を利用したポートフォリオ作成、授業や課題配信等でのiPadの活用などにより、新しい入試制度にも対応できる体制を整えています。

## 高等学校教育のポイント

### POINT 1

#### 進路にあわせた学習指導

「進学クラス」は、付属校の特典である推薦を活かし、志望学部への合格を目指すカリキュラムです。日大への推薦は、12月初旬に合格発表となりますが、その後も一般入試に向けた学習指導を継続するため、難関私大合格が可能です。

「特進クラス」は、国公立大をはじめとした、最難関大学への志望をサポートします。選択科目を多く設定し、国公立大学の2次試験までを視野に入れた、ハイレベルな授業を行います。

### POINT 2

#### 確実な合格力を身につける学習サポート

日大、他大学進学の高コースともに、基礎学力と学習状況をはかる調査を定期的実施し、結果は面談などに活用して、きめ細やかな指導を行います。また、全国レベルの模試により、自分の位置を正しく把握し、自主的な目標設定を促して、「Classi」ポートフォリオにも記録するなどしながら進学への意識と実力を育成します。

### POINT 3

#### 夏期講習

長期休暇中に実施する補習や講習は、それまでの学習を振り返り、その先の学習目標を定める機会です。各学年が希望者を募って実施する講習や、必要にあわせた補習も行います。特に夏休み中、校内で実施する夏期講習は、基礎から応用、志望大学の受験にあわせた演習などの100以上の講座があり、しっかりとした実力を身につけることができます。

## ▶ クラス編成

### 進学クラス

総合大学として数多くの学部・学科を持つ日本大学の付属校のメリットを生かした高大連携プログラムが充実したカリキュラムです。

本当に進みたい学部学科を選択し、「〇〇学部で学問を修めたい」という明確な意志を持つことができるように、大学との連携授業も充実しています。

また、進学クラスからGMARCHへの合格も見据えて、日々の授業で実力を伸ばします。

### 特進クラス

年々希望者が増加している、国公立大学をはじめとした難関大学を目指すカリキュラムです。

私大では早慶上理の第一志望が多いため、基礎学力をサポートするプログラムにくわえて、難関大学合格を目指す模試を全クラスで実施します。多彩な補習・講習、小論文の個別対応も行って、一人ひとりの第一志望をバックアップします。



## ▶ 日大基礎学力到達度テスト

日大への推薦は、在学3年分の学業成績と、「基礎学力到達度テスト」によって決定します。実施は高2と高3の4月と高3の9月です。高3、9月の試験では、文系・理系それぞれの志望にあわせた科目を受験します。出題範囲が広く、問題量が多い基礎学力到達度テストは、高校学習の総合力が問われます。

## ▶ 総合探究

高校1年では身近な問題を「SDGs」に関連付けて調べ、現代の世の中で何が求められるのかを学習します。

2～3年次は「起業」をテーマにして学習し、リサーチ能力、資料作成能力、そしてプレゼンテーション能力を養います。



# 進学クラス

## きめ細やかな進路指導



1年

### 学習習慣の確立と 適性の把握

進路指導部による「進学システムガイド」やベネッセの「スタディーサポート」、毎学期行われる担任との面談により、学習習慣の確立と共に早くから進路に向けた指導を行います。また、キャリア教育実践ツールにより、「将来どんな仕事に就いている人と考えが似ているか」「どんな学問を学んでいる人と考えが似ているか」を知ります。これは、現在就いている仕事や現在学んでいる学問に満足している社会人や大学院生のデータを元に教えてくれるもので、2年次からの文理選択にも参考になるものです。

2年

### 文理別コースでの 応用力養成

社会・理科はそれぞれの進路希望に合わせた科目を選択し、基礎力だけでなく応用力もつけていきます。引き続きスタディーサポートや担任との面談により、目標に向けた進路指導をきめ細かく行います。

また、日本大学の付属校である強みを生かし、各学部から教授や入試担当者に来校して頂き、学部説明会を実施します。生徒は希望に応じて複数の学部の説明を受けることができ、日本大学の学部の中から最終的に進学を目指す学部・学科を決めていきます。

3年

### 第一志望合格の 実現

日本大学への進学は、2年生4月と3年生の4月、および9月に行われる「基礎学力到達度テスト」によって決まります。

そのため、授業はより実践的な取り組みへと変わり、夏休み中にそれぞれの希望に応えるべく毎年多くの講習が開かれます。生徒の第一志望合格に向けて担任だけでなく学校全体でサポートします。

## 受験生へメッセージ!

### 楽しく充実した高校生活は、一生の宝物です

鈴木 理央(上智大学 法学部 地球環境法学科)

私が志望していた大学への合格を果たせたのは、千葉日の先生方の手厚いサポートのお陰です。確かに、それを叶えるためには自分自身の努力も欠かせません。毎回の授業では誰よりも真剣に取り組もうという姿勢は忘れなかったし、暇さえあれば単語帳を開いたり復習をしてみたり…などと自分なりに頑張ってきました。ですが、コロナ禍で制限された中でも趣向が凝らされた授業や夏期講習をして下さったり、休み時間をも一杯使って熱心に私の質問に答えて下さったり、親身になって受験対策の相談に乗って下さったりなど、先生方のご指導・ご協力無くして今の進路と自分は無かったと感じています。また、3年になってからはクラスの雰囲気もより引き締まり、仲間達と励まし合い、自習室なども活用しながら勉強に打ち込むことが出来ました。そして、仲間の存在の大切さは部活動においても言えることです。書道部の日々の練習も、中高生全員で切磋琢磨しながら頑張ってきました。この、楽しく充実した高校生活は一生の宝物です。



### 一生に一度しかない瞬間を大切にしてください

市井 栄翔(日本大学 理工学部 建築学科)

今回は、私が在学中に経験したことをアドバイスとして二つ話したいと思います。  
一つ目はやればできるというのは嘘だということです。正確にはやればできるのではなく、やらなければならない、ということです。どんなことでもまずやってみることが大切です。人生の半分も生きていないのにできないと決めつけたいです。特に勉強がその一例です。できないと決めつけるのではなく、三年間努力してみてください。もちろんできないこともあります。やってみない限りできる確率は0%です。  
二つ目は今を大切にすることです。生意気だった後輩も、卒業すると会う機会がほとんどなくなります。節目を迎えるというのはうれしい反面、とても寂しいものです。一生に一度しかない瞬間ひとつひとつを大切にしてください。  
以上二つのことを少し気に留めて、受験に向けた期間、そして入学後の高校生活を送ってくると幸いです。



# 「特進クラス」の“+a”

本校の特進クラスは、以下のような目標を掲げて生徒の実力を伸ばせるように努めています。

- 旧帝国大学や千葉大学など、国公立大学への進学をめざす
- 早慶上智や東京理科大学、GMARCHレベルの大学など、難関私立大学への進学をめざす
- 日本大学付属推薦で、日大医学部や獣医学科への進学をめざす

## 各教科の取り組み

各教科では上記の目標のもと、特進クラスならではの指導を展開しています。ここでは、英語・数学・国語の3科の取り組みについてご紹介します。なお、これらの取り組みにより、国公立大学や難関私立大学に向けての学力はもちろん、日大基礎学力到達度テストでも高得点が取れることになります。そして、どの教科の指導にも貫かれている信念は「ゆっくりとした進度が理解度・定着度を高めるわけではない。むしろ教科全体を見渡せる状態での反復演習こそが理解度・定着度を高め、実力を伸ばす」ことです。



### ▶ 英語

特進クラスでは、進学クラスよりも難易度の高い演習問題を扱い、授業進度もやや速い点が特色です。英語の授業では、3年間で学ぶ基本文法事項を高校2年次の前半に学び終えることで、早めの大学受験対策を行えます。また、高校1年次の段階から実際の入試問題の過去問を取り入れて、長文問題集を中心にした授業を展開しています。こうして早い段階から大学受験を意識させ、国公立大学や難関私立大学への受験に対応できる力を養成します。

### ▶ 数学

教科書の範疇を超えた発展的な内容を平素の授業内で積極的に扱うことが特色です。これにより、難関大学の受験に耐えるだけの知識や体力、技能を養成しています。また、教科書内容を早期に終わらせることによって、十分な演習時間を確保できます。こうした授業体制が現役合格を実現させるための一番の環境になると考えているからです。解答作成能力の育成にも力を入れ、生徒が自分の力で数学的に矛盾のない論理的な解答を記述できるよう指導しています。さらに定期試験などを通じてそれらを評価しています。

### ▶ 国語

進学クラスでは扱わない事項も学びますが、進学クラスとの一番の違いは問題演習の量です。大学入学共通テストや私立大学入試の過去問題を高校1年次から取り入れています。早期から入試を意識させ、模擬試験に対応して自信をつけることで、難関大学挑戦への基礎を形成するためです。特に古典領域は特進クラスに在籍しているかどうかで大きく差が開きます。古典は入試でも確実に得点できる領域です。現代文の領域でも、読みの視点を踏まえて早期から入試問題の過去問に挑戦し、実戦力を育成しています。

## 受験生へメッセージ!

### 特進クラスなら「伸びる自分」を実感できます

何がその生徒のために最適な選択であるか。特進クラスでは私たち教員が一人ひとりに寄り添いながら考え、しっかりと指導します。「一般選抜で受験すること」「部活動には入らないこと」といった制約もありません。国公立大学や難関私立大学をめざしたい生徒はもちろんのこと、純粋に自身の学力を高めて大学合格を手繰り寄せたいという生徒も歓迎します。その上で、本校での進路サポートや担任の先生との面談により、さらに高みをめざしたいという自身の壁を乗り越える目標が生まれるのなら、この上ない幸せだと私たち教員は思います。伸びる自分を実感できること。これほどの喜びと充実感はありません。私たちといっしょに特進クラスで学び、自己実現を果たしましょう!





## 進路指導サポート

文理選択や科目選択、共通テストの出願や併願戦略など生徒対象の各種ガイダンスに加え、大学入学共通テストの結果を踏まえて教員で意見交換をする「共通テスト出願検討会」を実施します。生徒が関心を持つ分野や第一志望大学など、生徒の希望をもとに実際の共通テストの結果を踏まえて、どう出願するのがその生徒にとってベストであるか、学年の枠を超えて先生方の知恵を結集する検討会です。高3特進担任はそこでのアドバイスを生徒一人ひとりに伝え、受験プランを決定していきます。

また、特進クラスの担任を中心に、各予備校の進路情報研修会に参加しています。大学入試の最新情報やトレンド、有効な受験プランなど、生徒に伝えられることを積極的に吸収して指導に最大限に生かすためです。



## イベント

「他大学訪問会」を計画しています。夏休みを利用して、例年生徒の志望が多い「千葉大学」「明治大学」などを中心に、希望者を募って大学訪問するイベントです。キャンパスの見学や在学生の案内など、大学の雰囲気や進学先に向けた取り組みへのやる気を高められるように工夫しています。

また、「卒業生座談会」では、大学入試を終えたばかりの先輩を招き、学習方法や心構え、これから受験に向かう生徒へのアドバイスなどを語ってもらいます。特に部活動との両立や予備校・塾の利用方法などについては多くの受験生が悩むことです。そのため、在校生が積極的に質問でき、こうした悩みをどう乗り越えるかを知る絶好の機会となっています。



## よくある質問

### Q.特進クラスに在籍すると、付属校のシステムを活用した日本大学への進学はできないのですか？

A. いいえ。日本大学付属推薦の制度を利用して日本大学へも進学できます。「さらに高みをめざして夢を追いかけたい」。そんな思いを抱く生徒たちが特進クラスに在籍し、高校3年次の夏に他大学に挑戦するか、日本大学への進学を考えるかを判断しながら学んでいます。「付属校に入学したのだから日本大学には行きたい、けれどもっと高みにも挑戦したい!」という生徒は大歓迎です。

### Q.特進クラスに在籍すると、大学の学校推薦型選抜（旧推薦入試）や総合型選抜（旧AO入試）は受験できないのですか？

A. いいえ。学校推薦型選抜や総合型選抜といった大学入試も受験できます。確かに一般選抜に挑戦する生徒は多いですが、学校推薦型選抜や総合型選抜も貴重な合格を得るための機会だと認識しています。そこで、それぞれの生徒に適した受験プランを提案しています。もちろん、生徒の皆さんから「こんな入試方式があるので、挑戦したいのですが…」と提案してくれてもOKです。

### Q.特進クラスの選考に一度漏れたら、もう諦めるしかありませんか？

A. いいえ。特進クラスの生徒は毎年入れ替わります。「学力テスト」や模試の成績、学習の状況などを総合して特進クラスにふさわしい生徒を毎年選考しています。さらに、高校1年次から2年次に進級する時には文理選択があり、特進クラスも文系1クラス、理系1クラスに分かれます。しかし、入れ替わりは決して少なくはありません。例年、1年次に進学クラスに在籍した生徒の中にも、2年次には特進クラスに挑戦したいという生徒が多くいます。

### Q.他大学をめざしている場合、日本大学付属推薦を利用しなければ付属校としてのメリットはゼロになってしまいますか？

A. いいえ。現行の制度では、一般選抜でもメリットがあります。そのひとつが例年2月1日に実施されている日本大学一般選抜N方式を、付属校生徒が最大15学科まで無料で受験できることです。本来、1学科あたりの受験料は35,000円ですから、かなりお得に受験できます。自身の興味・関心、あるいは学科ごとの難易度に応じて複数出願することで、言わば「滑り止め」の効果を発揮することが多々あります。特進クラスの生徒の多くがこの選抜を活用し、そこからさらに高みをめざして挑戦していきます。

人間力を身につける

## 体験学習

クラブ活動で得意な分野を追究し、古典芸能鑑賞で日本人としての教養を身につけ、平和学習をテーマにした修学旅行は歴史・文化の体験学習。体育祭、文化祭など、活躍の場がたくさんある高校時代。高校は受験に向けた勉強だけでなく、多彩な経験を通して人間力を育成する3年間です。これらの学習は振り返りを行い、学びの記録として「Classi」ポートフォリオに記録していきます。

### ▶ 自ら考えて行動する 修学旅行

高2の2月に3泊4日で行う沖縄修学旅行。「自然と歴史・文化の体験」と「平和学習」をテーマに実施します。沖縄には、琉球王国時代の独特の文化や、第二次世界大戦での辛い歴史、戦後の占領下にあったことでの新たな文化などが存在します。リゾート地だけではない沖縄を体験します。さらに、事前・事後の学習を通じ、これからのグローバル社会で生きていく為に必要な「何か」を考える機会とします。



### ▶ 芸術鑑賞会

総合学習の一環として行う芸術鑑賞会。高校1年が古典芸能、高校2・3年が現代劇を鑑賞します。日本古来の芸能や伝統文化に触れたり、芸術の奥深さや凄さを体感することで、芸術に対する理解を深め、生徒の感性を豊かに育てていきます。

- 高校1年…落語などの古典芸能(本校多目的ホール)
- 高校2・3年…ミュージカル(劇団四季)など



### ▶ 生きる意義を考える 命の授業

高1生を対象に行う「いのちの授業」。現役の助産師さんから、「いのちの大切さ」について、貴重な講演をいただきます。生徒たちは「助産師」という言葉は知っていても、その仕事の内容を詳しくは知りません。プログラムでは身長50センチのベビーモデルを抱き、赤ちゃんの心音を聞くなどの経験を通して、命の重さを感じます。この授業を通じて伝えたいのは、「人間がこの世の中に誕生することは何よりも素晴らしいことであり、命を粗末にははいけない」ということ。生徒一人ひとりが自分が生まれてきた意義を考える機会です。



### ▶ 体育祭

中高合同で6月に行われる体育祭。総勢1,800名の中高男女がクラス毎で競い合います。学年により種目が違い、バラエティー豊かな体育祭になります。「全力・競争・団結・笑顔」をテーマに集団への所属感や連帯感を高め、千葉日の伝統を継承していきます。



### ▶ 文化祭

11月に行われる文化祭は中学・高校から文化祭実行委員を募り、生徒会のメンバーと共に生徒たちが主体となって作り上げていきます。

夏休みから活動を開始し、中学生と高校生が一丸となり、その年度のテーマに向かって協力している姿は中高6ヵ年一貫校ならではの光景です。





# 日大連携授業

## 日本大学との連携

文系、理系、医療、スポーツなど各分野で人材を育成し、多方面の学問領域を網羅する日本大学。18学部を持つ日大との連携は、付属校ならではのメリットです。



## 最先端の学問に触れる連携授業

### point 夏季体験授業

希望者を対象に、医学部、薬学部、歯学部、松戸歯学部、理工学部、文理学部などの幅広い学部で体験授業を行います。学部によ

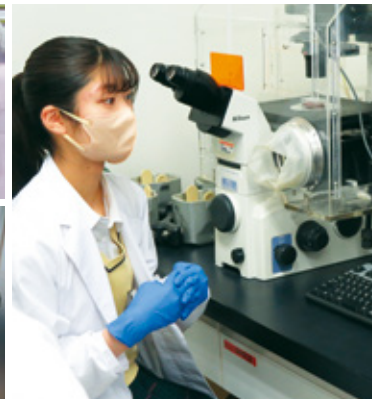
っては、模擬実験やキャンパスツアーも実施し、将来の日大キャンパスライフを体験することができます。

## 医学部

### 日本大学病院で最先端の医療に触れる

1・2年で体験する医学部との連携授業。日本大学に併設病院があるからこそできる体験です。

夏休みには日本大学病院に、4日間にわたって「通学」し、救命センターや手術室、臨床検査部などを見学します。大学生と共に最先端の医学に触れる研究は、最終日に研究発表まで行う本格的なもので、日大付属校の中で、本校だけが連携する体験授業です。看護体験では、看護師さんに付いて実際の患者さんに接する、貴重な体験をします。



### Student Message

#### 理系特進クラス 漆畑 美々莉

日大医学部研修では実際に研究室に入り心筋細胞を培養したりすることが出来ます。心筋細胞を作るにあたって、講義を聞くことが出来たり、学校では使ったことのない実験器具に触れることも出来ます。その他にも、最終日に教授達の

前で自分自身で考えたプレゼンをします。このようなことは普段やらないためとても緊張しましたが、改めて自分で色々なことを調べてみたり、人前で発表することで受験へのモチベーションをあげることが出来ました。



## 歯学部

### 歯科医師、歯科技工士、 歯科衛生士の仕事がわかる！

連携する日本大学歯学部は、「歯学」の領域だけでなく、人間の健康全般に関わる研究を活発に行っています。付属病院は、90年以上の歴史がある総合歯科病院。船橋日大前から約50分の御茶ノ水にあります。

歯科医師をはじめ、歯科技工士や歯科衛生士の仕事を見学することはもちろんのこと、模型の歯を使って削ったり、歯の詰め物を作るなどの模擬体験も実施します。大学生が行う実習を、高校で行う貴重な経験となります。



## 薬学部

### 科学者が使う電子顕微鏡で 観察できる世界に感動する!

船橋日大前から徒歩7分の場所にある薬学部。高校のときと同じような感覚で通えるので、本校から進学する生徒が多い学部です。

薬品分子化学、薬理学、臨床医学の分野について、大学の先生について4日間にわたって学びます。薬品分子化学では、アセチルサリチル酸を合成します。最新の電子顕微鏡を使って観察するのは、ES細胞などのミクロの世界。マウスの細胞からRNAを取り出してがん細胞を観察するとき、生徒から感動の声があがります。



### Student Message

#### 理系進学クラス 鳴島 梓

薬学部研修では、薬剤師が行っている調剤とエマルジョンの調整や代表的な解熱鎮痛剤であるアセチルサリチル酸の合成などの実験を体験できます。さらに、普段見ることのできない分析センターなどの施設を見学できます。研修後には

3日間で学んだことからテーマを決め、追加実験や調べてきた内容を発表しました。自ら疑問を持ち、考察する力や資料をまとめて人に伝える力など、社会で役立つ力を養うことができました。



## 理工学部

### 大学生・大学院生と一緒に 最先端ロボットを作ろう!

本校と隣接する理工学部は、生徒にとって馴染み深い学部。精密機械工学科の支援を受けて、大学で行う最先端の研究を学び、いくつかの研究室との連携も行っています。

二足歩行ロボットや宇宙エレベーター、エコランカーなど、ニュースでしか見ることのない最先端技術に実際に触れ、大学院生と大学生と一緒に製作してさまざまな競技会にも参加しています。物理学部の生徒が放課後に足を運び、大学生と一緒に研究に取り組むことのできる距離です。



### Student Message

#### 理系進学クラス 根津 光佑

私は物理部に所属し、理工学部と提携して様々な活動を行っています。まず、日大が主催しているロボットコンテストへの参加です。大学の先生や先輩方から指導して頂き、ロボットやAIの設計、プログラミング制作に取り組んでいます。

また、宇宙エレベーターロボット競技会の出場などにも挑戦しています。このような体験を通し、普段の生活では得られない専門知識だけでなく、将来の方向性や試行錯誤の重要性などを学習しました。





# N. 日本大学

日本大学は1889年に創立された日本法律学校を前身として、2019年に創立130年を迎えた総合大学です。

2016年には危機管理学部とスポーツ科学部を新設し、全18学部を有します。

教育理念は「自主創造」。「N.グランドデザイン」に基づいて、

社会で積極的に活躍できる「日大人」を養成すべく、全学的に共通認識を持ち、教育の向上に取り組んでいます。

## Graduate's Voice

### 高校時代からの目標だった獣医師の道へ

大西 伶奈 (日本大学 生物資源科学部 獣医学科)

高校に入ってから獣医師を目指すようになりました。私は中1から吹奏楽部に所属しており高3の夏休みまで続けていました。部活の後は勉強する時間があまり取れなかった為、毎日の授業と定期テストに力を入れました。部活との両立は大変だけれど、夏休み中も同じように努力している部活の友人と会うことで刺激となり、モチベーションを保ちながら勉強することができました。私は塾に通っていなかった為学校の自習室を利用し、勉強の習慣を整えることができました。また、先生と普段から話をする中で、相談しやすく、とても支えになりました。千葉日は部活に励みながらも、しっかりと勉強できる環境が整っているので自分の努力次第で結果が出せると思います。



### 大学付属校の強みを活かして薬学部に進学

高野 真菜 (日本大学 薬学部 薬学科)

私は中学生の頃から将来、薬剤師になりたいと考え、高校の進路選択をする中でオープンキャンパスを通じ日大連携授業の一環として、医歯薬系の学部体験プログラムにより学ぶ環境が充実している千葉日本大学第一高等学校を知り、受験を経て入学しました。千葉日には、4つのサイエンスルームがあるほか、フリースペースや自習室などの施設が整備され、日々学習する環境がとても充実していました。また、大学付属高校の強みを活かして様々な学部情報等を得られるほか、大学受験に向けた進路及びテスト対策においても、先生方へ相談ができる環境が整っていたこともあり、希望する薬学部へ進むことができました。



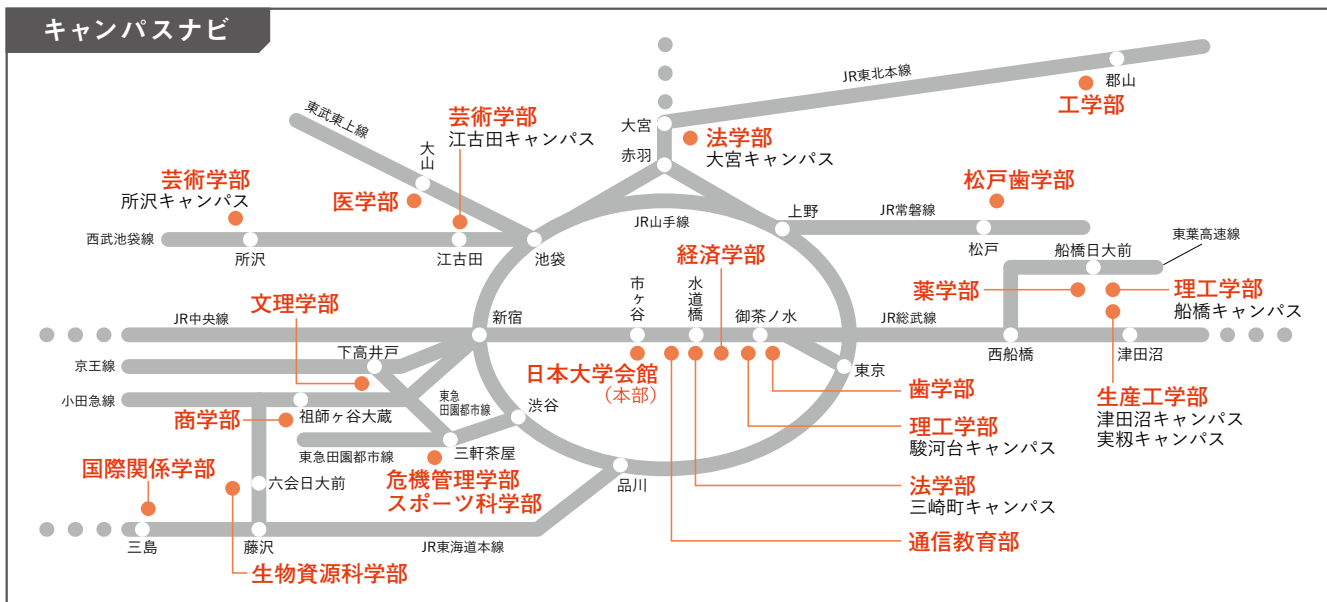
### 整った環境で学べる

牧野 瑞生 (日本大学 法学部 法律学科)

私は高校から千葉日に入学して、一年生のときに社会の授業で習った法律や憲法に興味を持ち法学部に行きたいと思いました。部活動と学業の両立がうまく行かず、一年生の時はテストや模試の結果は良くありませんでした。そこで部活動の合間や休み時間に勉強したり、授業でわからなかったことを先生に積極的に質問したりして学習スタイルを自分なりに見直してみました。自分にあった学習スタイルを見つけたことで成績も少しずつ伸びて希望の法学部に合格することができました。千葉日には丁寧に教えて下さる先生方がいらっしゃいます。また自習室や訪ねやすい職員室など整った環境の中で充実した高校生活を送ることができました。



### キャンパスナビ



# グローバル教育

英語の4技能習得だけでなく

「コミュニケーション力」「多様性を受け入れる力」

「相手を理解する力」「プレゼンテーション力」の育成を目指し、

英検を毎学期学校で受検できるようにしています。



## オンライン英会話 (School weblio)

中学の3年間は1クラスを2つに分けて、オンライン英会話による個人レッスンと、ネイティブによるグループレッスンを隔週で行っています。高校生も授業内に年間10回のマンツーマンレッスンを受けています。個人レッスンは、ネイティブスピーカーとの授業内でのマンツーマンレッスンだけでなく、授業を受けた回数と同じ回数分のレッスンを自宅でも受講でき、年間で最大44回の個人レッスンを受けることができます。また、年度始めと年度末にスピーキングテストを受け、1年間で自分のスピーキング力がどのくらい伸びたかを客観的に把握することができます。



## Weblio Studyの導入

Weblio Studyには、7つのコース「4技能対策」「英会話」「共通テスト対策」「単語」「基礎英作文/英会話暗唱特訓」「文法演習」「Weblio 英会話」があり、授業だけでなく自宅での学習にも利用できます。各コースともCEFRA1～B2(学年レベルは中1～高2以上)の幅広いレベルに対応しており、それぞれの目標に合わせて活用ができるので、4技能の向上が期待されます。このWeblio Studyやオンライン英会話の導入などにより、大学入試において利用されることの多い英検の受検者数が増加し、2級以上の取得者も増えています。



## スピーチ&レシテーション・コンテスト

中1から高2までスピーチコンテストを多目的ホールで実施します。中学生にはレシテーションとスピーチの部門があり、学年全員の前で発表する出場者は、各クラスの英語の授業で選ばれます。高校生になると200wordsを超えるスピーチ原稿を作り、ジェスチャーを交えながら発表を行います。日大付属校が集まるスピーチコンテストでも、本校は入賞の常連校です。出場する生徒は、英語が得意な生徒とは限りません。夏休みにネイティブの先生と一対一で音読練習を重ねた成果です。コンテスト出場経験は、表現力を磨くチャンスでもあり、英語を学ぶ意欲も向上します。



## 留学生との交流

中学2年生、3年生は、年に1回留学生との交流会を行います。英語圏だけでなくアフリカ、南米、ヨーロッパ、アジアなど世界各国から集まった留学生を本校に招いて、交流を行っています。多様な文化・価値観に触れることで、視野を世界に広げ、未来について考える機会となります。生徒は、英語を使えば、たくさんの人たちと繋がることができ、世界が広がるということを実感します。生徒からは、「英語をもっと話したくなった!」、「色々な文化を知ることができて嬉しかった!」と好評でした。





## セブ島語学研修

中3と高1の希望者に向けて3月末に実施する1週間の語学研修。セブ島にある語学学校の寮で生活し、英語を公用語とするフィリピン人からマンツーマンレッスンを受けます。この目的は、英語を学ぶためには知識のインプットだけでなく、自ら情報発信するアウトプットがいかに重要かを認識すること。帰国した生徒は「使える英語を身に付けたい」というモチベーションをアップさせています。

### Student Message

#### 磯野 志帆

授業中は常に英語で話し、授業後は地元の方とコミュニケーションをとる機会がありました。この研修を通して、自分の行動力とコミュニケーション力に自信ができました。



## イギリススポーツ教育学研修

高1、2年の希望者を対象とした11日間のプログラムです。ロンドン近郊のブライトンでホームステイをしながら、様々なスポーツの体験や、スポーツマネジメント理論などの授業、プロスポーツ観戦を通して、スポーツという文化について英語で学びます。2022年の夏に初めて実施されたこの教育学研修には25名が参加。バスケットボールやテニス、ラグビー、クリケットなどを楽しみました。

### Student Message

#### 北川 空

リーダーシップ論についての講義を英語で受講したり、現地のプロスポーツリーグの試合を観戦しました。この研修を通して、リーダーに必要な資質や共通点を学びました。



## オーストラリアホームステイ

高校1、2年の希望者を対象とした、16日間の語学研修プログラム。クイーンズランド州のブリスベンでホームステイをしながら、ブリスベン・クリスチャン・カレッジで語学研修を行います。参加資格は英検準2級程度。希望者が多い場合には、英検のスコアや志願理由による選考を行います。なお、ホームステイ先はこの学校に通う生徒や関係者の家です。現地校での生活やホストファミリーとの暮らしの中で生きた英語を身につける以外にも、現地の施設を訪問する文化交流、さらにはスポーツ、音楽、ダンス、アートを始めとする講習なども用意。美しい海などの雄大な自然や異文化にふれることで、視野を大きく広げられ、人間的にも成長できるプログラムとなっています。



## ケンブリッジ大学短期語学研修

日本大学の付属高校26校から選抜された生徒が参加できる語学研修制度です。実施されるのは夏と春の年2回。サマー・プログラム(7月)とイースター・プログラム(3月)があります。各校から夏に2名、春に3名が参加でき、本校からも毎年複数の生徒が参加しています。現地では名門ケンブリッジ大学で学生による語学研修や、教授による文化や歴史の講義を受けられる他、週末を利用した宿泊研修なども体験できます。滞在先は名門ケンブリッジ大学の寮で、同大学の学生が常に帯同して生活をサポートしてくれます。他の日本大学付属高校生とも心を通わせながら、歴史と伝統のある英国の大学生活を肌で感じる貴重なチャンスです。参加した生徒は意識と語学力を高めて帰国します。



# 進路指導

## 生活習慣を確立し、確かな基礎学力を身につける。

それぞれの志望実現に向けたコース別のカリキュラムのもと、大学やその先の将来を見据えた進路指導を行います。中高一貫生、高入生それぞれに、早い段階から具体的な将来設計を意識して、日々の学校生活の中で得た学びを振り返ることで、主体的に学ぶ力を育成し、主体性のある進路選択を行います。

## 進路指導室のすゝめ

各大学の過去問題を集めている赤本・青本を充実させています。第一志望の大学については、誰もが自分で過去問題を手に入れますので、本校生徒が多く併願する大学の過去問題集を多く設置しています。もちろん、日本大学を志す生徒のために、一般選抜のみならず、内部進学するために必要な「基礎学力到達度テスト」の過去問題集も多数置いています。

オープンキャンパスの情報や本校の教科指導のプロが勧める「おススメ問題集」も設置しており、志望校を探す生徒だけでなく、学習に悩みを持つ生徒も進路指導室を訪れています。隣接する「自習室」とともに進路指導室をどんどん活用してください！



## “チバニチ”進路サポート宣言！

私たちは、生徒が単に大学に入れば良いという考えを好みません。生徒が希望する進路実現に向けて最善の選択ができるよう、ともに調べ、ともに考え、互いに情報共有していきます。

生徒が希望する進路実現は、大学入試の突破にとどまらず、その先にある人生を豊かなものにするにありと考えます。したがって、目先のゴールではなく、長い視野を持った助言をすることを怠らないように努めています。

そのために、「進学指導」ではなく、キャリア教育を視野に入れた「進路指導」を、心を尽くして行います。

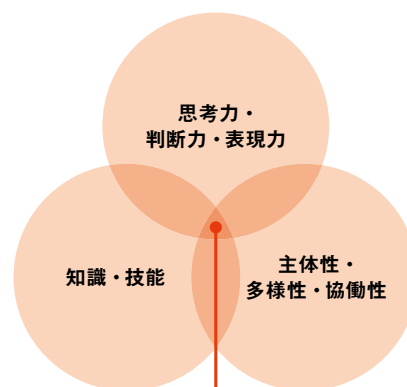


## 具体的なサポートシステムの例

必要な時期に的確な進路指導ができるように、「進路希望調査」をもとに面談し、進路指導部からガイダンスを行っています。中学校では、平素から三点固定や自己マネジメントの土台作りを行っており、さらに中学3年生では高校の特進クラスを希望する生徒に向けた情報提供を行っています。

高校においては、高校入学後のガイダンス期間に「高1高校入学進路ガイダンス」を行い、どのような方針でどのくらい学習を行っていくか指針を示します。他にも、高校1年生の秋には「文理選択ガイダンス」、高校2年生の秋には「科目選択ガイダンス」や「日本大学学部説明会」、高校3年生の春から夏にかけては「日本大学付属推薦ガイダンス」「他大学併願戦略ガイダンス」「共通テスト出願ガイダンス」と、本校の進路指導ノウハウが詰まった手作りのガイダンスを準備しています。

保護者対象の「進学システムガイド」や中高生の誰もが参加できる「難関大学説明会」「卒業生座談会」も用意しています。本校で一緒に皆さんの将来を見つけてみませんか？



## 君のミライ! = 目指す大学!!

進路指導において、最も重要視するのは自主的に進路を選択する「主体性」です。日々積み重ねる学力と、経験を通して身につける「思考力・表現力・判断力」を力にして、多様な進路を実現させます。



## Student's Voice

### 日々努力していれば、必ず結果はついてきます

佐久間 陽暉(慶應義塾大学 商学部 商学科)

受験は自分の将来像を決める手掛かりになると思います。高校生活を満喫することももちろん大切ですが、早期から日々の授業は大切に聞き、復習を欠かさずに行うことが第一志望合格へ近づく方法だと私は思います。

さらには、高1、高2の内は文系、理系を問わず得意科目を確実に伸ばしていく、全教科において早期に1通り終わらせておくと、より受験において有利になります。

例えば、私は部活動を高3の5月まで行っていましたが、登下校などの隙間時間を活用して、英単語の暗記やリスニングを行っていました。そのおかげで高2の夏には1冊目の英単語帳を完成でき、無事高3で英検準一級を取得しました。

そして、他教科においては選択を狭めずに幅広く勉強していくことも大事だと思います。受験というのはマイナスなイメージがつきまとうかもしれませんが、根気強く日々努力していれば必ず結果はついてきます。皆さんの受験を心から応援しています！



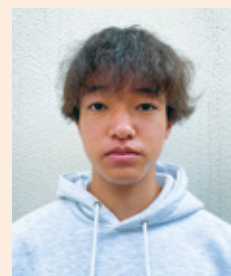
### 僕を大きく成長させてくれた、受験までの1年間

鶴岡 秀士(早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科)

受験に向けて、今どんな思いを抱えているでしょうか。焦燥に駆られ不安を感じている人も多くいることでしょう。決して楽な道ではなく、途中で全て投げ出してしまいたくなるほど辛い期間になることと思います。しかし、それゆえに受験生にしか歩けない道が存在する筈であり、実際私も受験勉強を通してその道をゆっくりであっても少しずつ歩んでこれたと思っています。その上でお世話になった方々の言葉を借り、敢えて受験の結末を明言するならば結果なんてどうでもよい—

もちろん「狂ったような勉強量」という条件付きであるという事実を無視することはできませんが、結果を求め勉強する受験生にとってこれほどまでに勇気を与えてくれる現実はないように思います。

受験勉強を通じて、その中で生まれる羨望や苦悩を含め受験を楽しむことができれば、きっと自分自身を大きく成長させてくれる期間になるはずです。皆さんの受験に向けた日々が素晴らしいものとなることを願っています。



### 受験を経験したからこそ、得られるものがあります

永野 莉亜(上智大学 外国語学部 英語学科)

私は中学受験をしてこの学校に入学して、高校に入った頃には既に他大を目指すことは決めていました。6年間沢山の先生方が寄り添ってくれ、担任の先生も真摯に進路相談にのってくれました。高校からは特進クラスに入り、本格的に受験を意識するようになりました。文系特進クラスでは多くの人が一般受験を目指していたため、自然と皆が協力し合いながら勉強できる環境を作ることが出来たと思います。受験勉強において周りの環境はとても大切です。その点においてはとても感謝しています。

受験というのは実際に経験してみないとどのようなものか想像がつかないでしょう。もちろん大学受験は相当厳しい世界で簡単に合格を貰うことは出来ず、後悔は必ず残ります。ですが経験したからこそ得られるものがあり、なによりその辛さを経験した人は強いです。受験期間は勉強だけに集中し、受験を乗り越えれば本当に幸せに感じます。頑張ってください。



### 信じた道を本気で突き進めれば後悔は無いはず

紅谷 優和(上智大学 理工学部 情報理工学科)

難関大学受験に挑戦する方に向けて、自分の経験から伝えられる事を書きたいと思います。僕は吹奏楽部という部活に受験期の夏まで入っていた事もあり、部活との両立という点を伝えたいです。まず高三の春頃、部活を続けるかどうか迷う人は沢山いると思います。僕もその1人でしたが、自分の中の「絶対に好きな部活を続けて受かってやる」という気持ちを信じて部活を続ける事に決めました。今悩んでいる人はぜひ本当に好きな事なのかを基準にして決断して欲しいです。また部活を続ける事は一概にデメリットだけだという訳でなく自分の感じたメリットを書きます。周りには高1、2が多く部活ではあまり受験を意識しない環境に置かれる為、「自分以外のみんなは今も勉強している。限られた時間で何とかしないと。」と、危機感を身をもって感じられることや、好きな部活の時間がある事は本当に良い息抜きになり後半戦でのモチベーションにも繋がりました。最後に、自分の信じた道を本気で突き進めれば後悔は無いはず。周りの意見に振り回されず頑張ってください！



# グラフで見る進路状況

日大、他大学進学、どちらの志望も基礎学力の徹底は必須です。

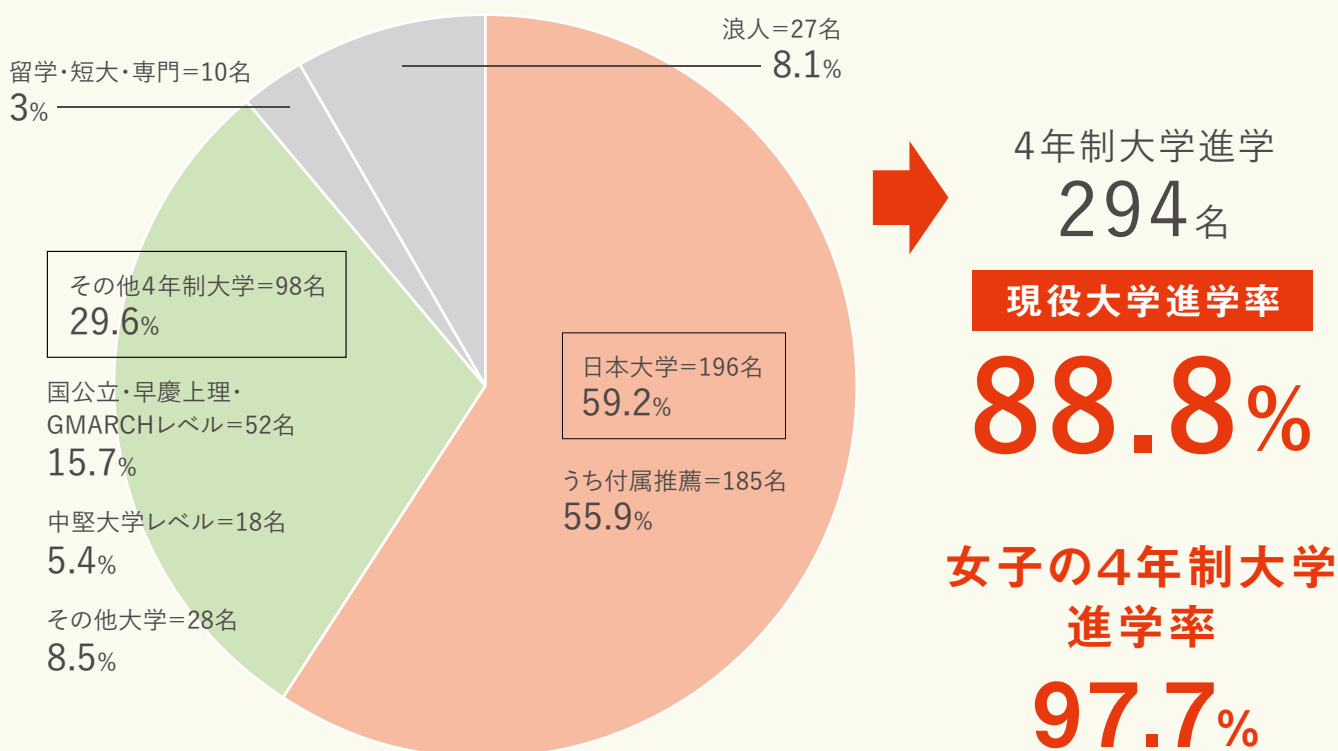
定期的な学習状況調査をもとに実施する面談と、きめ細かい学習・進路指導によって、自主性を持った進路選択を行います。

## 大学のその先に、多彩なフィールドが広がる日本大学

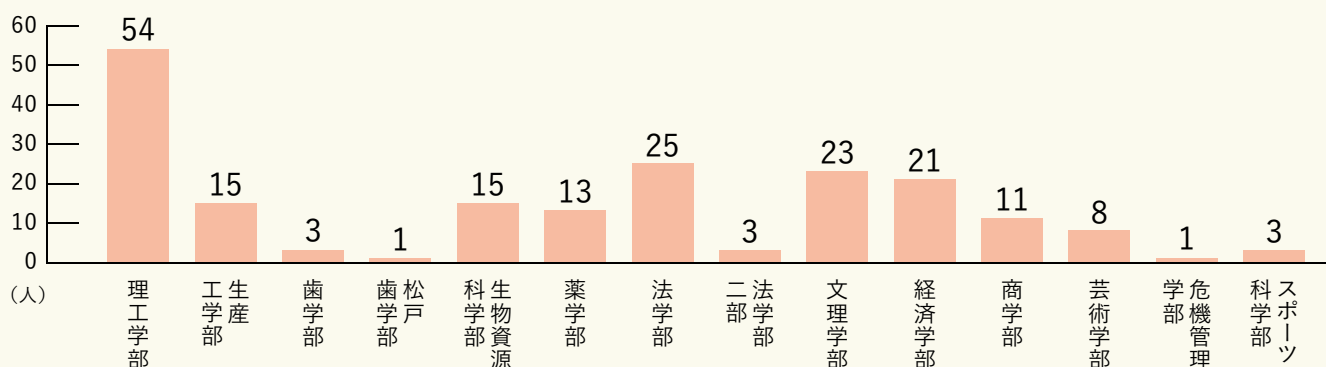
日本大学は明治22年に創立された「日本法律学校」を前身とし、社会学、医歯薬系から芸術系までの多彩な学部が設置された総合大学です。

日大への推薦は、在学3年分の学業成績と、高2と高3の4月・高3の9月に実施される「基礎学力到達度テスト」によって決定します。本校からは毎年、約6割の生徒が進学し、理工学部や薬学部など、近隣にある学部からは、日常的に卒業生が訪れます。

### 令和5年3月卒業生331名の進路



### 令和5年3月卒業生 日本大学への進学状況



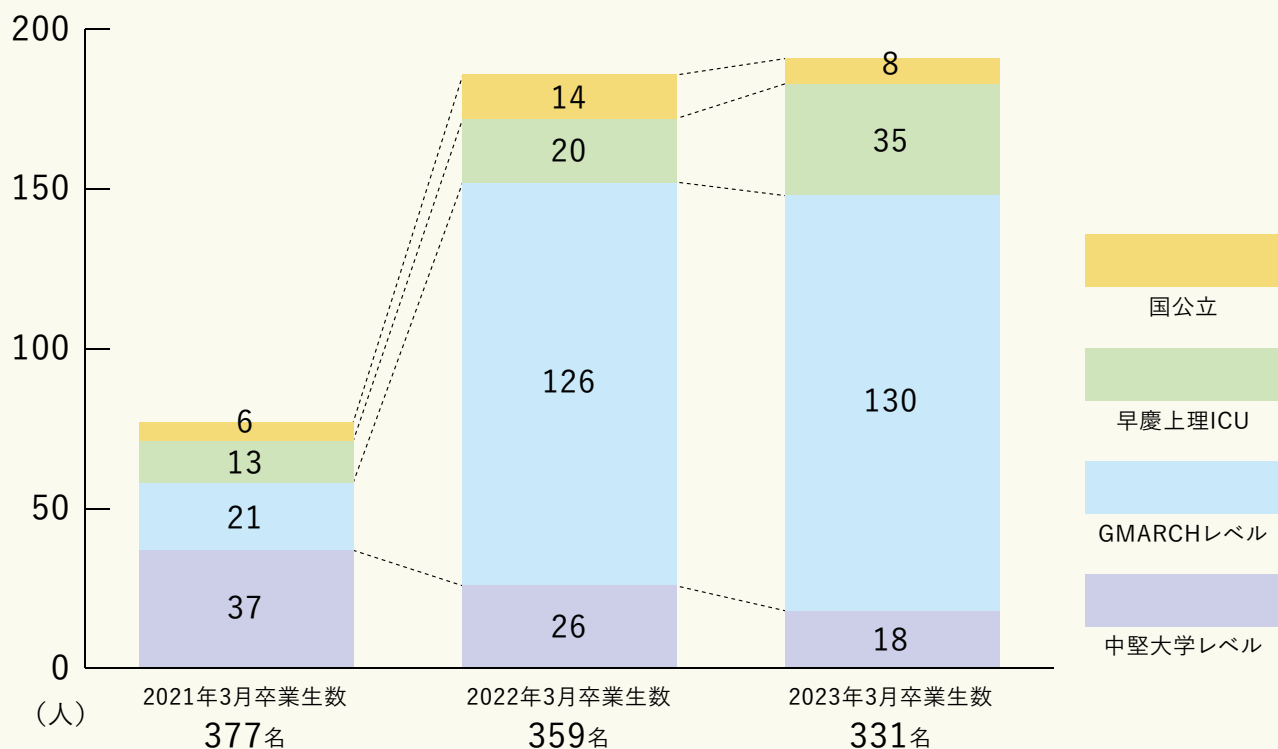


## 高い目標を掲げて、自分の目指す将来へ着実に歩もう

近年、国公立、早慶上理、GMARCH、医歯薬系の躍進が目立ちます。年々高まる難関大学志望者に向けて、合格を目指す模試を全クラスで実施し、小論文の個別指導など、受験をバックアップする体制は一人ひとりの第一志望を叶えています。

目標を達成した先輩たちは、講演や座談会のために母校を訪れ、貴重な体験を語ってくれます。

### 大学現役合格実績の推移



### 主要大学合格実績

( )内の数値は合格人数中の過年度生数

大学名	合格人数	大学名	合格人数	大学名	合格人数	大学名	合格人数	大学名	合格人数
弘前大	1	高崎経大	1	学習院大	10(1)	津田塾大	4	成城大	8
筑波大	1	都留文科大	1	明治大	25	東京女子大	7	成蹊大	3(1)
千葉大	2	早稲田大	7	青山学院大	7	日本女子大	5	武蔵大	4
東京芸術大	1(1)	慶應義塾大	2	立教大	21	関西学院大	1(1)	明治学院大	10
東京工業大	1	上智大	8	中央大	24(2)	同志社大	2(2)	東邦大	14(3)
神戸大	1	東京理科大	21(3)	法政大	29(4)	立命館大	7(2)	日本大	436(10)

# クラブ活動

自分の可能性を発見し、自分を高めさらなる飛躍を目指します。強い絆で結ばれた仲間を持つ喜びも学校生活の醍醐味となります。



## 中高共通体育系クラブ

- アメリカンフットボール部 ● ダンス部 ● 水泳部 ● 柔道部 ● 剣道部
- ワンダーフォーゲル部 ● 卓球部

## 中高共通文化系クラブ

- 書道部 ● 華道部 ● 物理部 ● 将棋部 ● 鉄道部
- 文芸部 ● 茶道部 ● 手芸部 ● 英語部 ● 地理歴史部
- 生物部 ● 地球科学部 ● 美術部 ● 化学部 ● 写真部

## 中高共通同好会

- コンピュータ同好会

## 体育系クラブ

- サッカー部 ● 陸上競技部
- 野球部 ● 硬式テニス部
- ラグビー部 ● バドミントン部
- バスケットボール部
- ゴルフ部 ● バレーボール部

## 文化系クラブ

- 吹奏楽部 ● 演劇部
- 放送部



## Student's Voice

## キャプテンとしての責任感を心に

竹森 いく(中学女子バスケットボール部 部長)

私たち中学女子バスケットボール部はほとんどの部員が中学校からバスケットを始めました。初めはルールも分からず大変でした。しかし、先輩や顧問の先生にたくさん教えてもらったり練習をしたりしていくうちに試合の形が見えていき、上達していきました。

私たちの部活の魅力は部員みんなの仲が良いところです。先輩後輩関係なく楽しく部活を行い、誰か一人でも上手いかないことがあったらみんなで相談して、励まし合いながらやっています。

キャプテンとして、みんなを支えようと思っていますが、私一人では上手いかないこともあります。そんなときは部員みんなが助けてくれます。これからも互いに支え合いながら部活を頑張っていきたいと思っています。

※成績 第54回船橋市冬季バスケットボール大会 出場  
第56回船橋市秋季市民バスケットボール大会 出場



## 改めて仲間の大切さを実感

村田 碧音(中学サッカー部 部長)

僕は小学校の頃からサッカーに取り組んできました。そのため、中学校でもサッカーを続けたいと思い、設備の整っている千葉日サッカー部に入部しました。

初めは友達が多くありませんでしたが、自分の思うようなプレーができなかったのですが、徐々に友達ができ、一緒にプレーをしていくうちに仲間との信頼関係を築き上げることができました。今ではお互いに高め合い、時にはみんなで困難を乗り越え合う大切な仲間です。サッカーを通して、仲間との絆を実感できました。顧問の先生方や外部コーチもいつもわかりやすく指導していただき、充実した部活動ができています。

これからもチーム全体で支え合いながら、サッカーを頑張っていきます。

※成績 2022年度船橋市新人大会2位 県大会出場



## 「ラグビー憲章」を胸に刻んで

本内 朝陽(高校ラグビー部 部長)

我々闘球部は、試合に出場する選手が1チーム15人とあらゆる競技の中で、最も多い人数です。それだけ大人数になると、統率することがなかなか難しいときがありました。そんなときには「ラグビー憲章」を思い出します。「ラグビー憲章」とは、5つのワードから成り、1、品位 2、情熱 3、結果 4、規律 5、尊重 です。これは多くの人々の目標や指針に共通するものだと思います。皆でこの言葉を心に刻み、良い試合ができるようこれまで練習を重ねてきました。トライを取ったときの爽快感、トライに繋がるプレーをしたときの達成感、タックルで相手を止めたときの充実感、これらすべてが自信になり、もっと上手くなりたいという気持ちが生まれます。本校の練習は、短期集中型で短い時間でメリハリのある練習ができ、いつも新鮮な気持ちで臨むことができています。友情や絆も強くなり、部活のみならず、学校生活でもより一層楽しく過ごすことができています。

※成績 関東合同大会第3位  
千葉県U17候補3名 千葉県U17代表1名



## 魅力は、一体感と壮大な響き

福田 栞理(高校吹奏楽部 部長)

私たち吹奏楽部は、中学・高校合わせて約70人で活動しています。主に大きなイベントは夏のコンクール、文化祭、3月の定期演奏会です。他にも季節毎のコンサート、地域イベント、他部活の応援など、幅広い場で演奏しています。

吹奏楽部にはたくさんの魅力がありますが、特に「皆で1つの音楽を作り上げるという一体感を味わえること」は他の部活にはない魅力です。自分だけでは生み出せない壮大な響きに感動すること間違いなし！音色の違う個性豊かな楽器がたくさんあるので、自分にふさわしい楽器との出会いも待っています。部員全員の音が1つの音楽になるという感覚をぜひ味わってみませんか。1人では見ることのできない景色を一緒に楽しみましょう。

※成績 全日本吹奏楽コンクール千葉県大会 金賞  
日本管楽合奏コンテスト全国大会 優秀賞



# 施設紹介

広大なキャンパスに充実した施設を備えた理想の学習環境。  
自然にのびのびと、生徒の個性とやる気を引き出します。



## ▶ 本館

1階事務所、3階には450人収容の多目的ホールがあり、学年集会、講演等で活用されています。



## 1

中学棟と高校棟は光の道で分けられ、入り口の所に設けられたモニュメントから、校訓である「真・健・和」の三本の光が差し込みます。二棟の建物は三階と四階の空中楼閣で結ばれます。

高校棟一階の自習室と本館校舎地階の図書館との間はサンクンガーデンでつながり、進路指導室、職員室と一体になった学びの空間が作られます。

高校棟二階はサイエンスプラザとなり、4つのサイエンスルーム(生物・化学・物理と中学理科室)があります。三階には、コンピュータ実習室が二部屋と書道室が置かれます。眺望のよい四階は、中学生も利用できるランチルームが開かれ、放課後も利用できます。また、来校された保護者や卒業生が談話室としても利用していただけます。

普通教室は、廊下側を前面にして窓を後面におき、横を壁とすることで授業への集中力を高めます。また、木の質感を活かすように作られています。机はA4版の教材用に広い天板を持ち、椅子も長時間座っていても疲労の少ないデザインを取り入れています。

各棟にエレベーター、各階に多目的トイレを用意してバリアフリーにも配慮しています。空間はできるだけ開放的になるように設計されており、同時に安全管理や耐震補強にも十分に配慮をしています。

movie  
校舎紹介



▶ 校舎外観





▶ 図書館

蔵書は7万冊あり、書架も閲覧室も広々としているのが特徴です。月刊雑誌の新刊やバックナンバーも豊富に揃っています。



▶ 芸術棟

音楽室、美術実習室、技術実習室、家庭科実習室、剣道場があります。



▶ 調理実習室

1階にある家庭科室は調理実習の授業に、文化祭の模擬店準備に活用されます。



▶ 音楽室

2部屋ある音楽室は中学・高校の音楽授業に、また放課後には吹奏楽部が活用しています。



▶ 400mトラック & フィールド

中学・高校のグラウンドとしてはめずらしく、1周400mの本格的陸上競技用トラックが設けられています。



▶ 野球場

野球専用のグラウンドが設けられていることも本校の特徴です。放課後の練習や日祭日には練習試合が行われています。



▶ ランニングロード

1周900mの校内ランニングロード。体育の授業に、また運動系クラブが使用しています。



▶ 体育館

上層は体育や球技などの部活・学校行事に使用され、下層は体操・卓球・柔道などの競技場が設けられています。



広々としたメインアリーナ

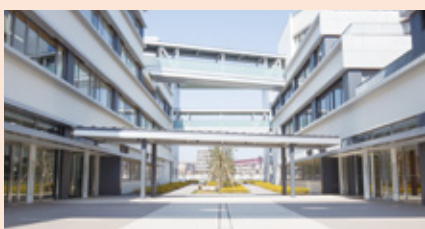


▶ 第二グラウンド

高校校舎跡地にハンドボールコート三面が入る広さです。体育の授業や中学の部活動に使用されます。



▶ サイエンスルーム



▶ 中学・高校 渡り廊下



▶ 1F 約100席の自習室



▶ ラーニングコモンズ



▶ サンクンガーデン



▶ コンピュータールーム



▶ 書道室



▶ 4F ランチルーム



▶ 職員室・学生相談コーナー



▶ バリアフリー・廊下



▶ 普通教室



# 年間行事

千葉日では年間を通し、さまざまな行事があります。  
さまざまな行事を通し仲間との絆も深まります。



4月

APRIL

- 日大基礎学力テスト(高校全) 高
- 避難訓練 中高
- (新中1・新高1) 中高
- 保護者会・進学システムガイド
- ガイダンス・SNS講習会 中高
- 入学式 中高

5月

MAY

- 生徒総会 高
- 中3 修学旅行 中
- 中1 宿泊研修 中
- 校内球技大会 中高
- 1次テスト 中高

6月

JUNE

- 進学システムガイド 高
- 高3 保護者対象
- 生徒総会 中
- 授業参観 中高
- 体育祭 中高

7月

JULY

- ケンブリッジ語学研修(選抜者) 高
- 高3 保護者面談 高
- (高1高2 希望者) 高
- オーストラリアホームステイ
- 中1 未来講座 中
- 2次テスト 中高

8月

AUGUST

- (高1高2 希望者) 高
- イギリススポーツ教育学研修
- 中3 自然体験学習(希望者) 中

9月

SEPTEMBER

- 高3 基礎学力到達度テスト 高
- 防災訓練 中高

10月

OCTOBER

- 日大学部説明会 高
- 1次テスト 中高

11月

NOVEMBER

- 芸術鑑賞会 中高
- 他大学進学説明会 中高
- 保護者面談 中高
- 文化祭 中高

12月

DECEMBER

- (中学全) 中
- 百人一首大会
- 2次テスト 中高

1月

JANUARY

- 共通テスト自己採点 高
- スピーチコンテスト 中高

2月

FEBRUARY

- 高2 修学旅行 高
- (中学全) 中
- 合唱コンクール
- 中2 スキー教室 中

3月

MARCH

- 難関大合格卒業生座談会 中高
- (選抜者) 高
- ケンブリッジ語学研修 (中3 希望者) 中
- フイリピン語学研修
- 期末テスト 中高
- 卒業式 中高





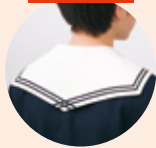
# 制服紹介

## 中学校

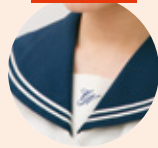
男子制服は男子校時代の先輩から受け継がれた本校オリジナルの紺の詰め襟です。ドビークロスのシャツ、中学生はスカイブルーを着用します。

女子の冬服は、紺を基調にしたセーラー服。着やすさにも配慮されている前開きスタイルで、リボンもワンタッチで着脱可能です。オプションのセーターをコーディネートすることで楽しさがひろがります。

Back



Front



Polo shirt



写真の紺の他、  
ピンクと青と白の計4色

Sweater



Men's Bag



Women's Bag



SUMMER

WINTER



## 高等学校

高校の男子制服は、爽やかな白のワイシャツに、中学と同じ紺の詰め襟。

女子は本校オリジナルのタータンチェック柄のスカートに、ブレザーをあわせます。指定のリボンやニット系は選択可能です。好みのコーディネートを楽しんでみてください。

Vest & Sweater



夏用ベストは3種類

Ribbon



Polo shirt



写真の紺の他、  
ピンクと青と白の計4色

Men's Bag



Women's Bag



SUMMER

WINTER



# EVENT SCHEDULE

※日程については本校HPにてご確認ください。

## 中学校 学校説明会 要WEB予約

- 第1回 9月16日(土) 14:00 ~
- 第2回 10月21日(土) 14:00 ~
- 第3回 11月11日(土) 14:00 ~

## 高等学校 学校説明会 要WEB予約

- 第1回 10月7日(土) 14:00 ~
- 第2回 11月25日(土) 14:00 ~

## オープンスクール 要WEB予約

学校説明会・授業体験・校内施設見学

中学校  
7月22日(土) 時間未定

高等学校  
8月26日(土) 時間未定

## 体育祭 本校第一グラウンド

6月15日(木) ※非公開

## 文化祭 入試相談コーナー開設

文化祭の入試相談コーナーはWeb予約です!  
11月3日(金)祝・4日(土) 9:00 ~

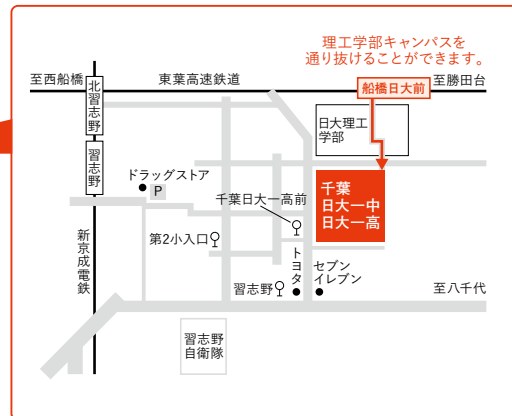
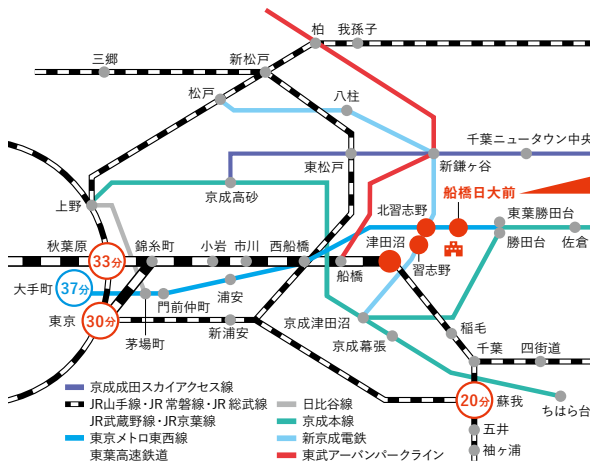
### Web出願を導入しています

出願やオープンスクールの予約などは全てPCやスマートフォンから行っていただきます。詳しくはHPをご確認ください。

▶ <http://www.chibanichi.ed.jp>



# ACCESS MAP



- 船橋日大前駅(東葉高速鉄道) 西口下車徒歩12分
- 習志野駅(新京成電鉄) 下車徒歩18分
- 北習志野駅(新京成電鉄)
  - ・1番乗場 津田沼駅行 千葉日大-高前下車 朋和産業本社行
  - ・2番乗場 習志野車庫行 第二小学校入り口下車徒歩5分

- 津田沼駅(JR)
  - ・1番乗場 船尾車庫行・八千代緑が丘駅行 習志野下車徒歩5分
  - ・2番乗場 千葉ニュータウン中央駅行 八千代緑が丘駅行・高津田地東口行
  - ・3番乗場 北習志野駅行 千葉日大-高前下車

# 千葉日本大学第一高等学校・中学校

〒274-0063 千葉県船橋市習志野台8-34-1

TEL 047-466-5155

FAX 047-468-0646

<http://www.chibanichi.ed.jp>